

説明用資料

# 平成28年度 上半期経営報告会

平成28年11月22日

# 目次

## 主な業務執行の状況

|                  |    |
|------------------|----|
| □地域経済活性化への取り組み   | 4  |
| □お客さま満足度向上への取り組み | 10 |
| □人材育成への取り組み      | 11 |
| □社会貢献・環境保全への取り組み | 14 |
| □格付取得のご報告        | 18 |

|                 |    |
|-----------------|----|
| 5-1 純資産の状況      | 28 |
| 5-2 自己資本比率の状況   | 29 |
| 5-3 不良債権の状況     | 30 |
| 6-1 貸借対照表       | 31 |
| 6-2 損益計算書       | 32 |
| 7 平成28年度計画の進捗状況 | 33 |

## 平成28年度上半期の業績

|               |    |
|---------------|----|
| 1-1 預金積金の残高   | 20 |
| 1-2 預金積金の内訳   | 21 |
| 2-1 貸出金の残高    | 22 |
| 2-2 貸出金の内訳    | 23 |
| 3-1 損益の状況     | 24 |
| 3-2 損益の増減要因   | 25 |
| 4-1 有価証券の運用状況 | 26 |
| 4-2 有価証券の評価損益 | 27 |

## 対処すべき課題

|                        |    |
|------------------------|----|
| □支援力、営業力の強化            | 36 |
| □金融サービスの機能強化           | 37 |
| □働き方の改革を通じた生産性の<br>向上  | 38 |
| □人材育成・能力開発・人材活用<br>の強化 | 39 |

# 主な業務執行の状況

## 地域経済活性化への取り組み

### ◆店舗戦略による営業力強化

#### ○西尾西支店の新築移転



預金業務中心の店舗から融資業務・渉外活動も行う「一般店舗」に転換。

西尾西支店 28年4月25日新築移転

#### ○碧南市指定金融機関を受託

(平成28年6月～平成33年5月)

【碧南支店の建て替え】

老朽化により現地での建て替え  
本年12月から仮設店舗で営業。

碧南支店 平成29年12月オープン予定



## 地域経済活性化への取り組み

### ◆店舗戦略による営業力強化

○御園支店を来年7月に新築オープン予定  
(建設中)



名古屋市中区栄の御園座近くに名古屋中心部の営業拠点となる御園支店を開設。

平成29年7月オープン予定



## 地域経済活性化への取り組み

### ◆お客さまに対する支援力を発揮

#### ○地方版総合戦略を推進

地域中小企業支援に向け、安城市をはじめとする多くの地域と連携。



半田商工会議所と業務提携を締結

#### ○創業・新規事業を支援

創業支援事業計画への参画を通じ、市町村等と連携して創業補助金の申請書作成支援、創業における金融支援を実施。

## 地域経済活性化への取り組み

### ◆お客さまに対する課題解決力を発揮

#### ○事業拡大に向けた専門分野チームによる課題解決支援強化

|                          |             |              |
|--------------------------|-------------|--------------|
| 【医療・介護分野】<br>平成28年度上半期実績 | 相談件数<br>80件 | 金融支援件数<br>8件 |
|--------------------------|-------------|--------------|

#### ○お客さまの販路獲得を支援するため ビジネスマッチングを実施

|             |         |       |
|-------------|---------|-------|
| 平成28年度上半期実績 | 面談数 28先 | 成約 2先 |
|-------------|---------|-------|

#### ○事業承継・M&A業務の拡充

|                           |             |               |
|---------------------------|-------------|---------------|
| 【事業承継・M&A】<br>平成28年度上半期実績 | 相談件数<br>95件 | 金融支援件数<br>11件 |
|---------------------------|-------------|---------------|

## 地域経済活性化への取り組み

### ◆お客さまに対する課題解決力を発揮

- 相談会・セミナーを通じて、ものづくり補助金申請をサポート

平成28年度上半期実績

申請数 94件

採択数 42件

※採択率 44.7% 全国平均 32.2%

- 成長事業分野に対する積極的な資金支援を実施

|                 |          |     |      |
|-----------------|----------|-----|------|
| 平成28年度<br>上半期実績 | 環境・エネルギー | 29件 | 16億円 |
|                 | 医療・介護・健康 | 42件 | 16億円 |
|                 | その他      | 16件 | 10億円 |
|                 | 合計       | 87件 | 42億円 |

※平成22年からの累計 1,096件 687億円



## 地域経済活性化への取り組み

### ◆お客さまの海外ビジネスを支援

#### ○海外事業展開のサポート

バンコク駐在員事務所を開設して2年経過。

|             |             |
|-------------|-------------|
| 平成28年度上半期実績 | 現地サポート 107件 |
|-------------|-------------|

今年度よりジェット口名古屋に職員1名を派遣し、海外事業展開のサポート態勢を強化。

#### ○グローバルセミナーの開催

お客さまの海外事業展開に役立つセミナーを定期的  
に開催。

平成28年6月9日 テーマ 「アセアン新・新興国事情」  
CLMV(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)の今 ~ベトナムを中心にして~



## お客さま満足度向上への取り組み

### ◆お客さまの資産運用、相続対策を支援

#### ○資産運用セミナーの開催

資産運用がはじめての方から経験の豊富な方まで、皆さまにご満足いただけるよう、資産運用セミナーを開催。

※平成28年5月23日より豪ドル建外貨預金の取扱いを開始。

現在、外貨定期預金キャンペーンを実施中。

#### ○相続・遺言セミナーの開催

相続に不安な点をお持ちの方、遺言作成についてお知りになりたい方などを対象に、相続・遺言の基礎知識や相続対策に関するセミナーを開催。

## 人材育成への取り組み

### ◆さまざまな勉強会・研修を実施

- 若手職員の早期戦力化**  
新入職員研修をはじめ、入庫3年目までの研修プログラムを策定し、職員の早期戦力化を実現。
- 女性職員の営業力強化**  
女性職員を対象としたマネーアドバイザー研修、ロールプレイング大会などを実施。
- 職員の課題解決力強化**  
職員のスキルアップ、キャリアアップを図るため、階層別研修を実施し、課題解決力のある人材を育成。



バーチャル店舗での新入職員研修



窓口対応セールス  
ロールプレイング庫内大会

## 人材育成への取り組み

### ◆職員の育成、外部人材の採用

#### ○職員の自己啓発

職員の自己啓発、資格取得を通じた能力開発、キャリア形成を力強くサポートし、お客さまのさまざまなニーズにお応えできる専門力を養成。職員の自己啓発支援ツールとしてeラーニングを利用。

#### ○外部人材の採用

外部人材を積極的に採用し、職員を育成。

主な公的資格等の取得状況

| 資格名       | 取得者数 |
|-----------|------|
| 中小企業診断士   | 16   |
| 社会保険労務士   | 5    |
| 行政書士      | 9    |
| 宅地建物取引士   | 132  |
| 1級FP技能士   | 33   |
| 2級FP技能士   | 733  |
| 3級FP技能士   | 264  |
| CFP       | 3    |
| AFP       | 9    |
| DCプランナー1級 | 3    |
| DCプランナー2級 | 11   |
| 証券アナリスト   | 3    |

平成28年10月1日現在

## 人材育成への取り組み

### ◆女性活躍推進法に基づく行動計画

平成28年4月に施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に基づく行動計画を策定。

|        |   |
|--------|---|
| 計画期間   | 平成28年4月1日～平成31年3月31日  |
| 定量的目標  | 係長に占める女性職員の割合を30%以上にする。   |
| 主な取組内容 | ○両立支援制度の拡充および職場環境の整備<br>○管理職を目指す女性育成のための教育および人事制度の整備<br>○女性のキャリア形成支援として、積極的に営業担当に配置 |

※平成28年9月末現在における女性係長の割合 274名中68名 24.8%



## 社会貢献・環境保全への取り組み

### ◆地域行事への参加



安城七夕まつりダンスコンテストに参加



子ども会ソフトボール・フットベースボール大会  
にボランティア参加

**地域の皆さまとのつながりを大切にするために、地域の  
行事・イベントに積極的に参加しています。**



## 社会貢献・環境保全への取り組み

### ◆振り込め詐欺など特殊詐欺防止への取り組み

店頭・ATMコーナー等でお客さまに注意を呼びかけ、被害の未然防止に取り組んでいます。

平成28年度上半期  
23件の未然防止



振り込め詐欺未然防止により  
警察署より感謝状を受領

今後もお客さまの大切なご預金を守るため、地元警察と連携強化し、振り込め詐欺などの特殊詐欺防止に努めてまいります。

## 社会貢献・環境保全への取り組み

### ◆金融教室、職場体験を実施

- 地域の小学校で「金融教室」を実施
- 地域の高校で金融機関の仕事を紹介
- 高校生、大学生のインターンシップを受け入れ



地域の明日を支える人づくりをお手伝いすることで、地域の未来に貢献したいと考えています。

## 社会貢献・環境保全への取り組み

### ◆第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会に協力

障がいがありながらも、素晴らしい絵の才能を持つ地域のアーティストを応援。

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会

平成28年12月9日～12月11日 場所：愛知県芸術文化センター他



イベント:アティックアート展

### ◆環境保全活動を実施

限りある資源・エネルギーを大切にするために、地域の皆さまとともに環境保全活動を実施。



内海海水浴場の清掃活動を実施

## 格付取得のご報告

### ◆ JCR格付において、12年連続で「A+」を取得

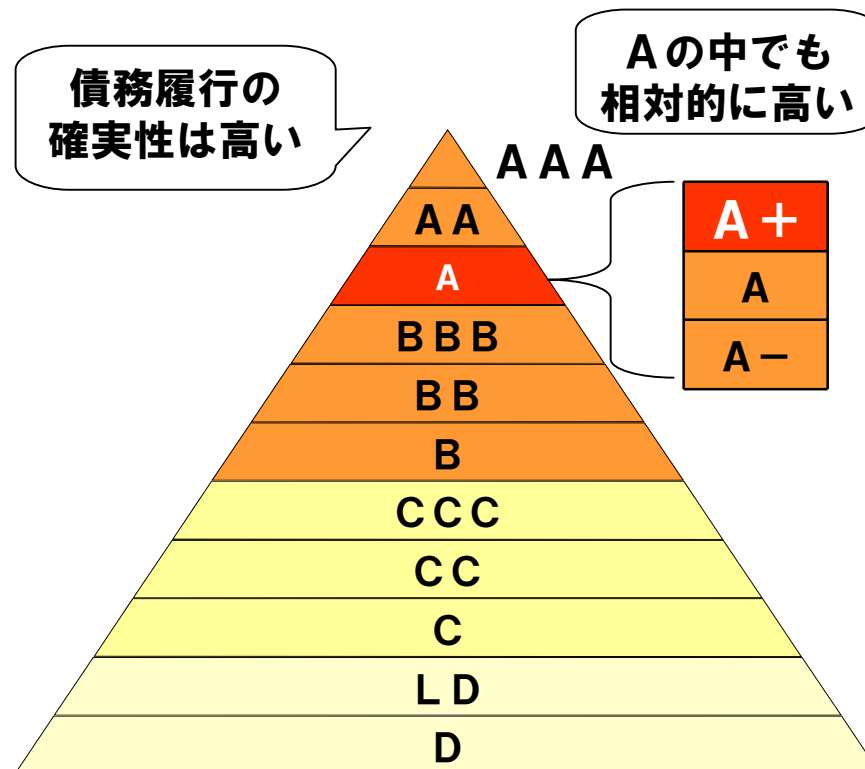
株式会社日本格付研究所（JCR）

格付の種類：「長期発行体格付」

格付：**A+**

格付見通し：「安定的」

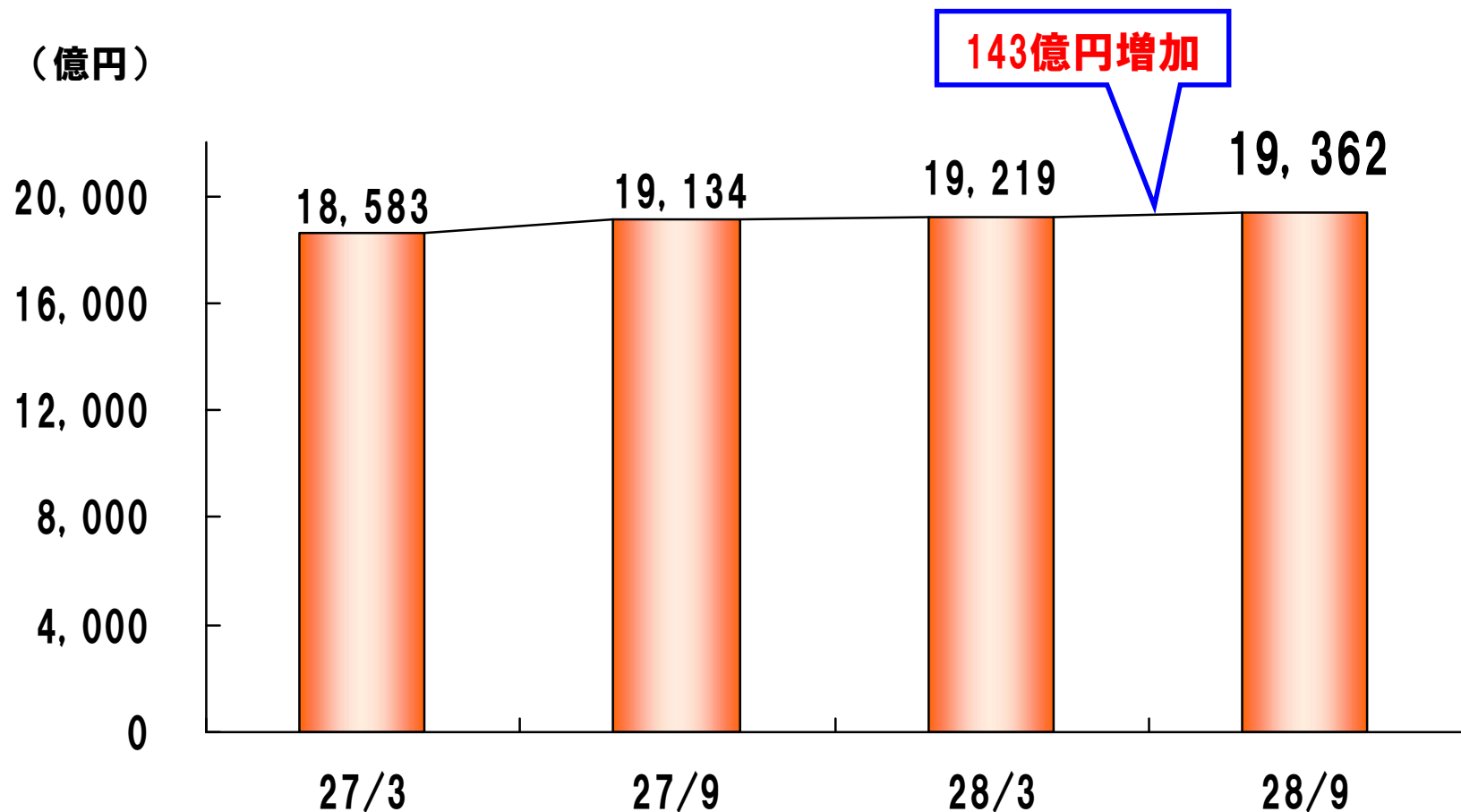
平成28年11月取得



# 平成28年度上半期の業績

## 1-1 預金積金の残高

- 預金積金残高は1兆9,362億円。平成28年3月末比143億円増加。
- 個人・法人のお客さまからの普通預金を中心に増加。

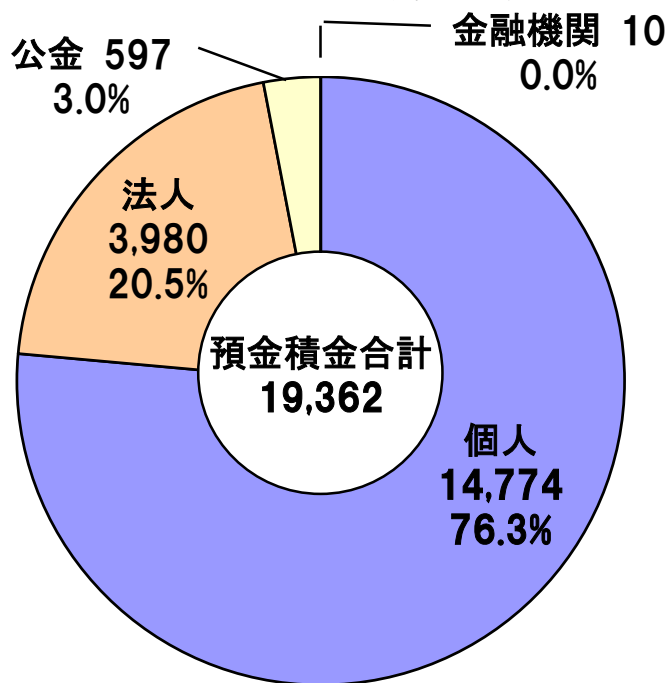




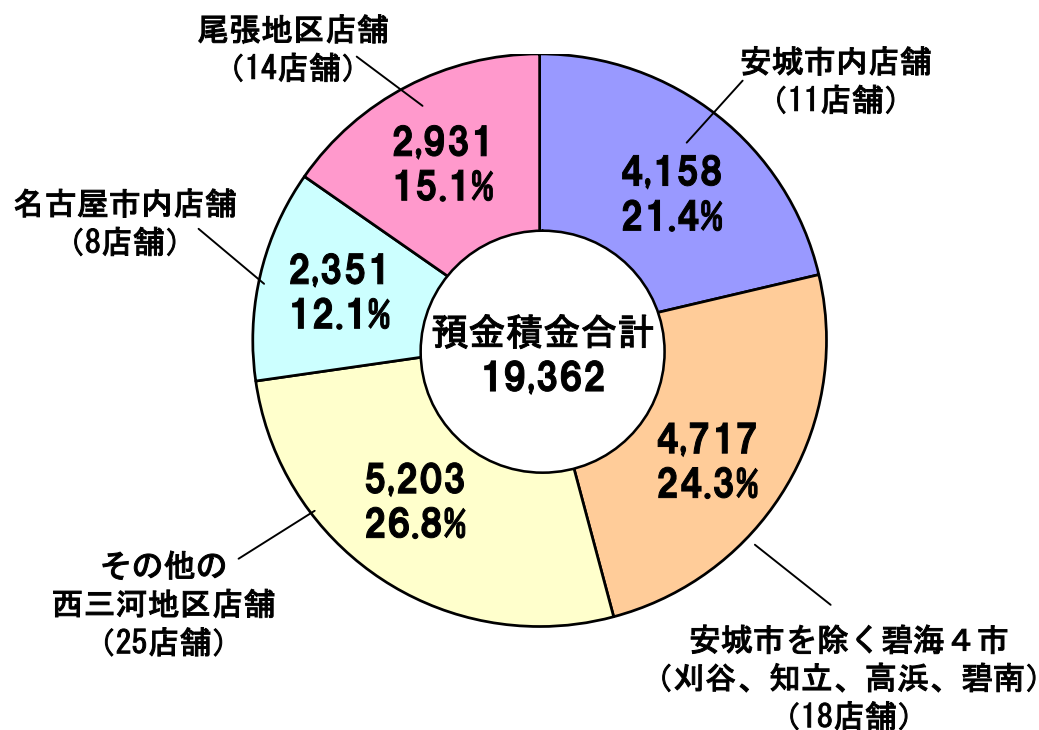
# 1-2 預金積金の内訳

- 個人のお客さまからの預金積金が全体の76.3%。
- 営業地区内の多くのお客さまから幅広く受入れ。

### ■ 預金者別預金積金残高



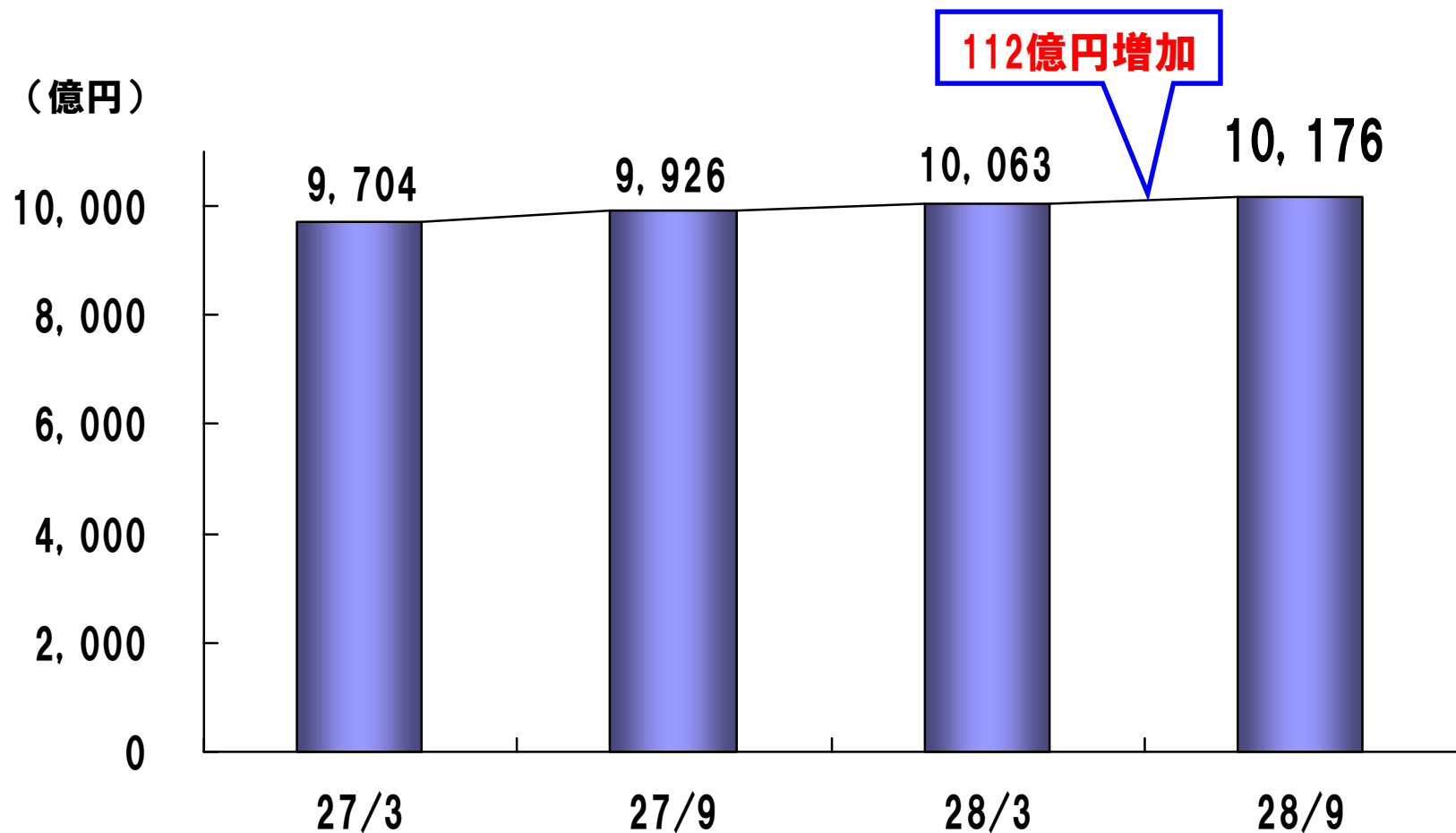
### ■ 営業店舗地区別預金積金残高



(平成28年9月末、単位：億円、%は全体に占める割合)

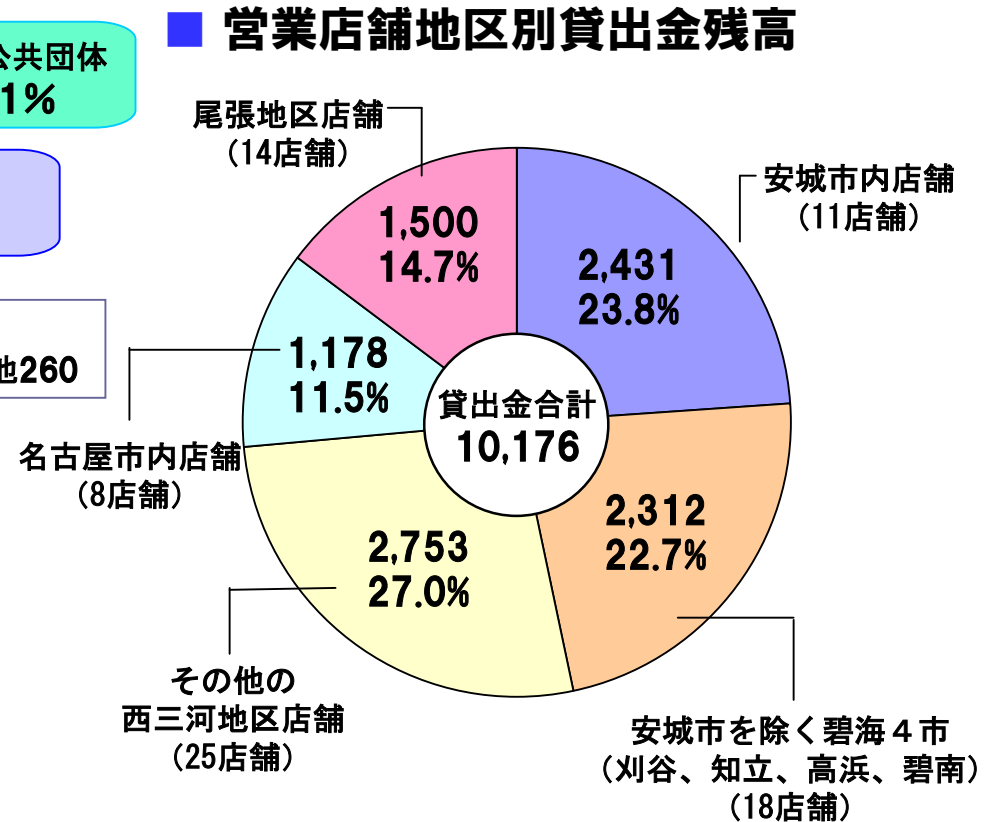
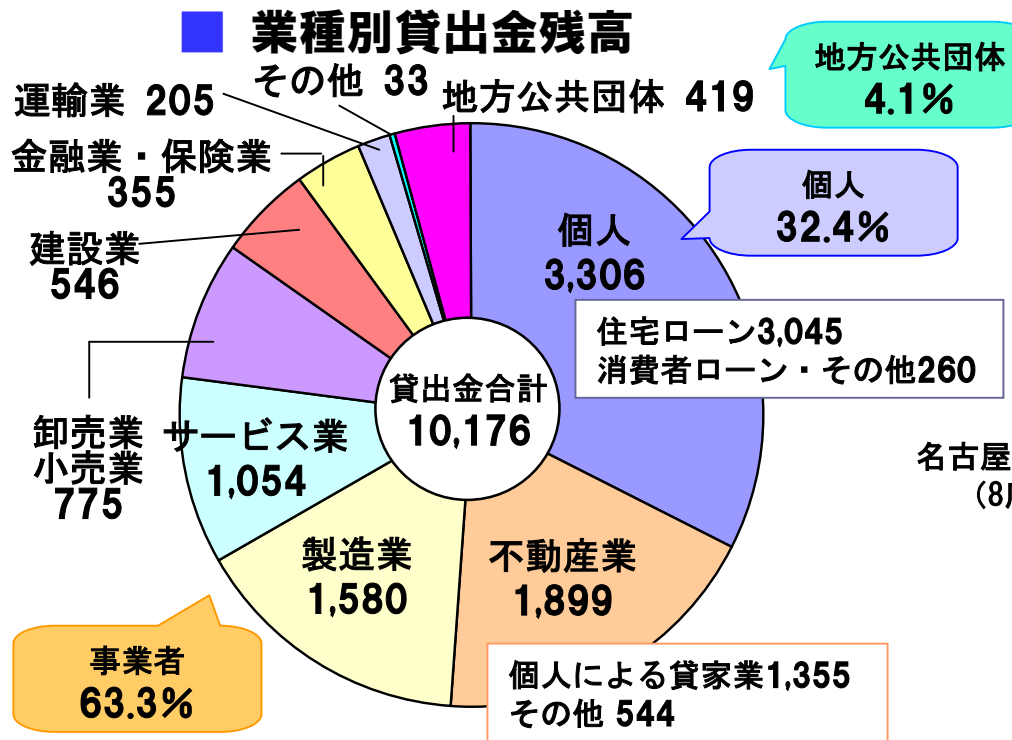
## 2-1 貸出金の残高

- 貸出金残高は10,176億円。平成28年3月末比112億円増加。
- 住宅ローンをはじめとする個人のお客さまへの貸出金が増加。



## 2-2 貸出金の内訳

- 特定の業種に偏ることなく、幅広い業種の資金需要に対応。
- 営業地区内の多くの地域のお客さまにご融資。

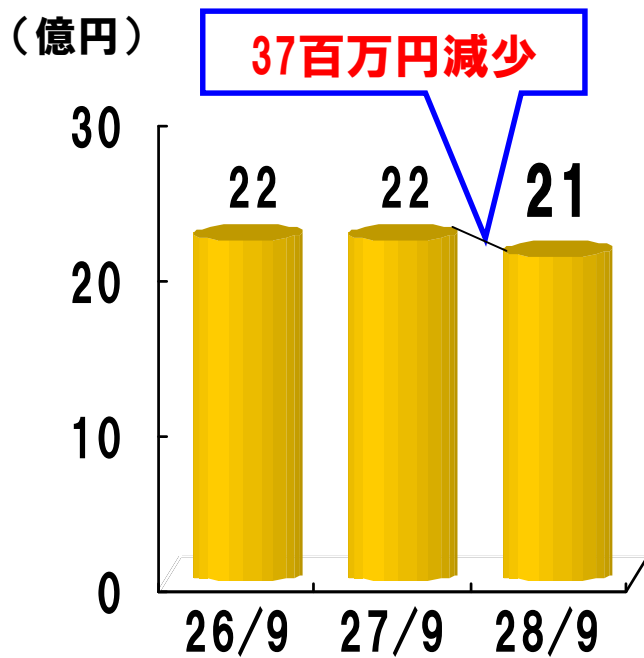


(平成28年9月末、単位：億円、%は全体に占める割合)

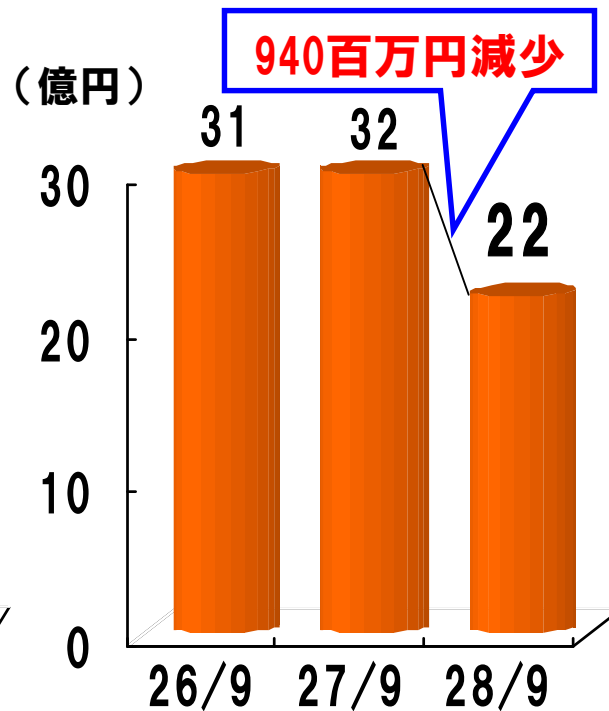
# 3-1 損益の状況

- 平成28年度上半期の業務純益 は 21億円、前年同期比 37百万円 ( 1.6%) 減少。
- "                    經常利益 は 22億円、       "       940百万円 (29.3%) 減少。
- "                    当期純利益は 16億円、       "       736百万円 (31.3%) 減少。

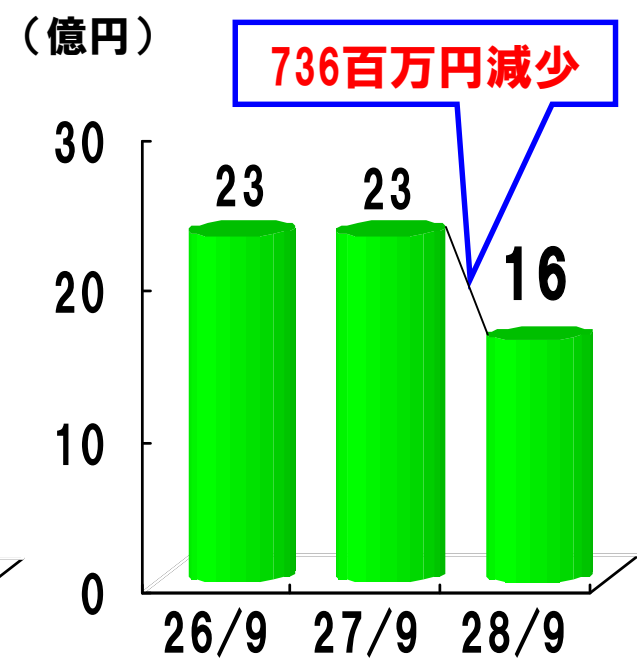
■ 業務純益



■ 經常利益



■ 当期純利益



## 3-2 損益の増減要因

(単位：百万円)

|               | 平成27年度<br>上半期 | 平成28年度<br>上半期 | 増 減  |
|---------------|---------------|---------------|------|
| 業務粗利益         | 10,134        | 10,261        | 126  |
| 資金利益          | 9,429         | 9,140         | △289 |
| 役務取引等利益       | 586           | 608           | 22   |
| その他業務利益       | 118           | 512           | 394  |
| (うち国債等債券関係損益) | 80            | 472           | 391  |
| 経費            | 7,905         | 8,069         | 164  |
| 人件費           | 5,172         | 5,172         | 0    |
| 物件費           | 2,489         | 2,618         | 128  |
| 一般貸倒引当金繰入額    | -             | -             | -    |
| 業務純益(※1)      | 2,229         | 2,192         | △37  |
| 実質業務純益(※2)    | 2,229         | 2,192         | △37  |
| 臨時損益          | 978           | 75            | △903 |
| 不良債権処理損益      | 238           | 147           | △91  |
| 株式等関係損益       | 682           | △38           | △720 |
| 経常利益          | 3,207         | 2,267         | △940 |
| 特別損益          | △2            | △2            | 0    |
| 当期純利益         | 2,353         | 1,616         | △736 |

国債等債券関係損益が増加したものの、貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少などにより、業務純益は前年同期比37百万円減少の21億92百万円となりました。

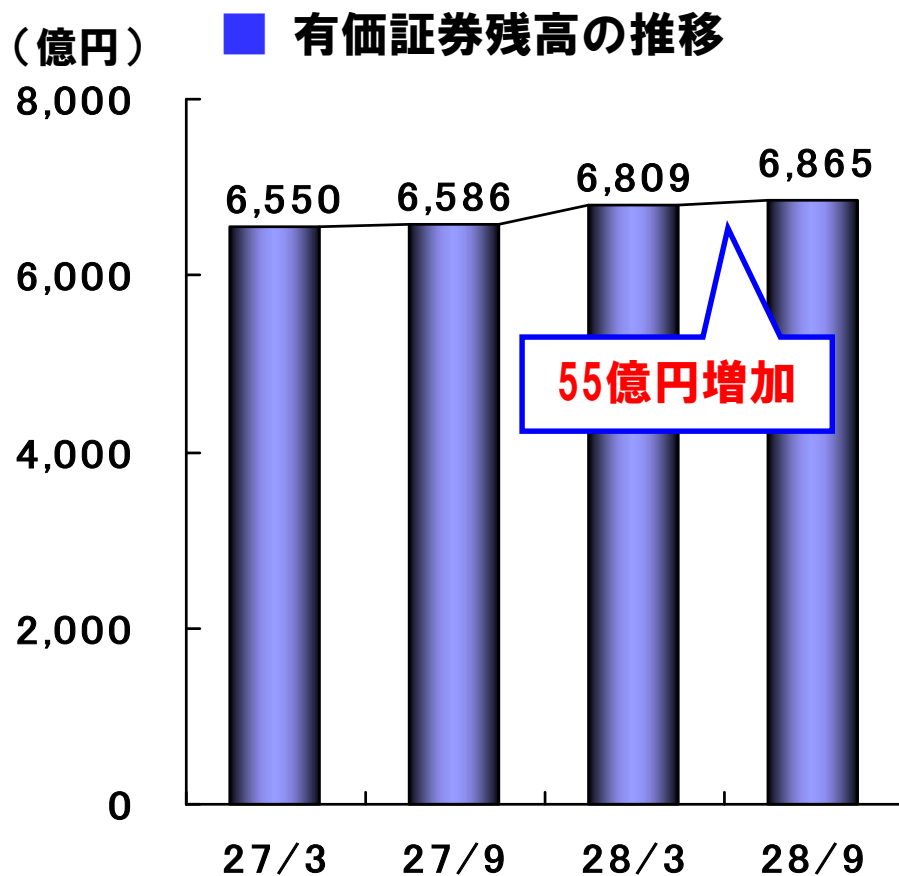
株式等関係損益の減少や貸倒引当金戻入益の減少などにより、経常利益は前年同期比9億40百万円減少の22億67百万円となりました。

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。

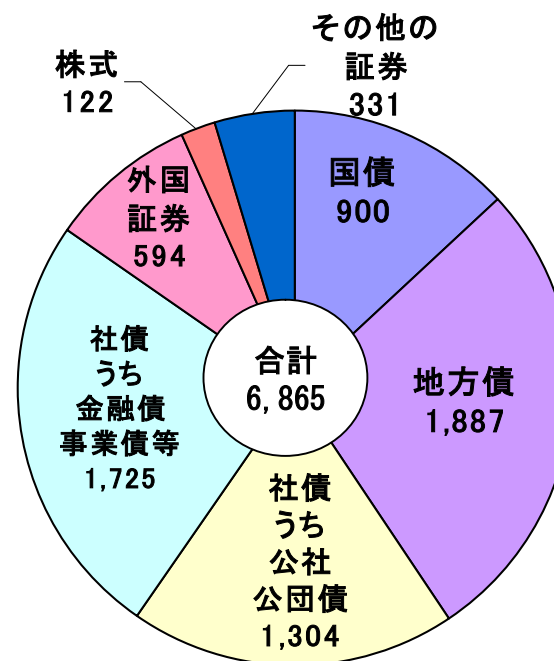
※2 実質業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額を除いた、より本業の収益力を表す利益です。

# 4-1 有価証券の運用状況

- 有価証券残高は6,865億円。平成28年3月末比55億円増加。
- 国債、地方債、格付けの高い社債および外国証券等を中心に安全性重視で運用。



■ 有価証券の内訳 (平成28年9月末) (億円)



(注) 外国証券の元本はすべて円建てで運用しています。



## 4-2 有価証券の評価損益

- 有価証券の評価損益は273億41百万円。平成28年3月末比14億68百万円減少。
- 市場金利の変動や株式相場下落があったものの、引き続き高い水準の評価損益を維持。

有価証券の評価損益

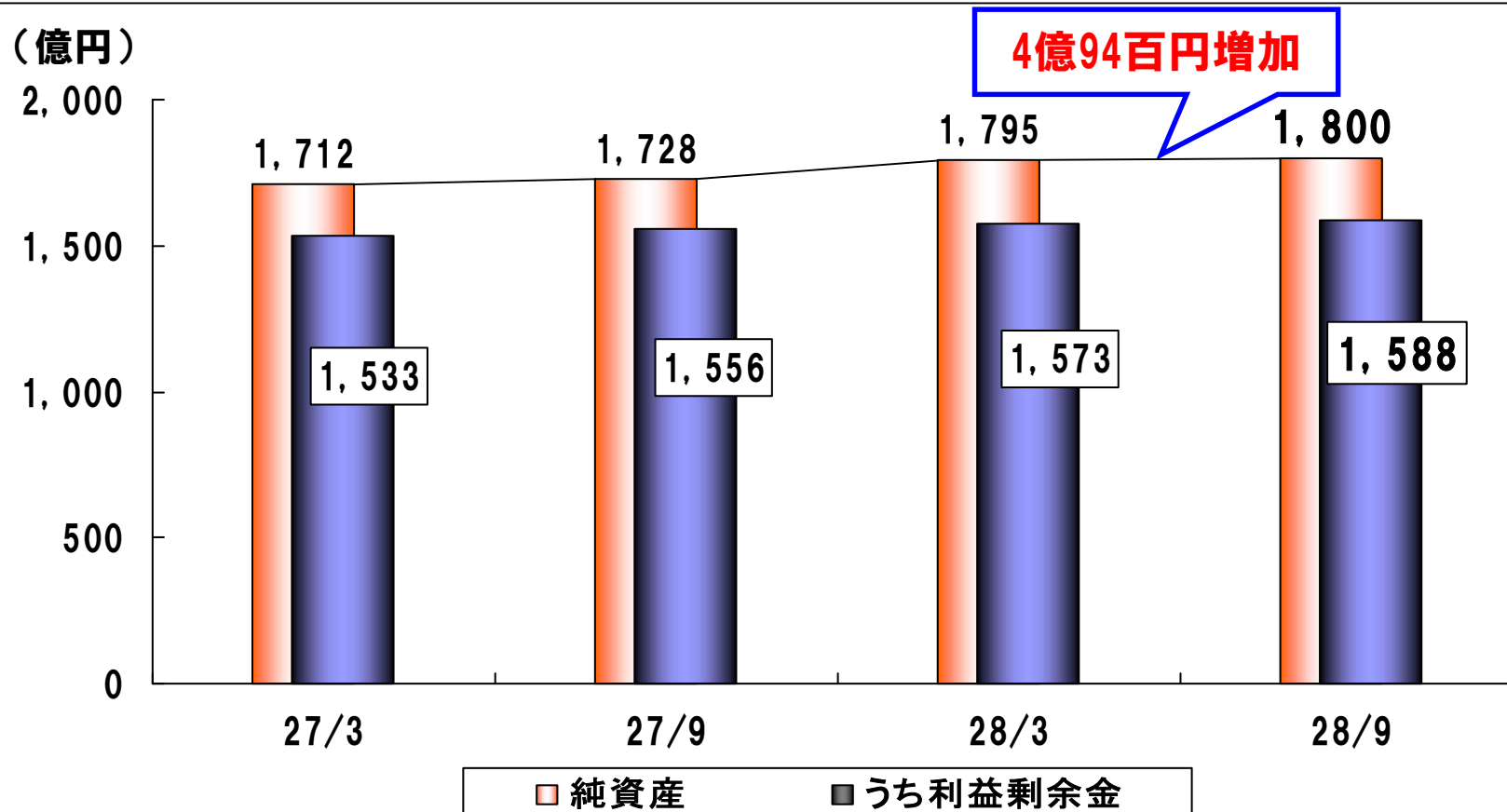
(単位：百万円)

|           | 平成28年3月末 | 平成28年9月末 | 増 減    |
|-----------|----------|----------|--------|
| 有価証券の評価損益 | 28,809   | 27,341   | △1,468 |
| 株式の評価損益   | 4,072    | 3,792    | △279   |
| 債券の評価損益   | 22,913   | 22,237   | △676   |
| その他の評価損益  | 1,823    | 1,311    | △511   |

※その他は、外国証券、投資信託等

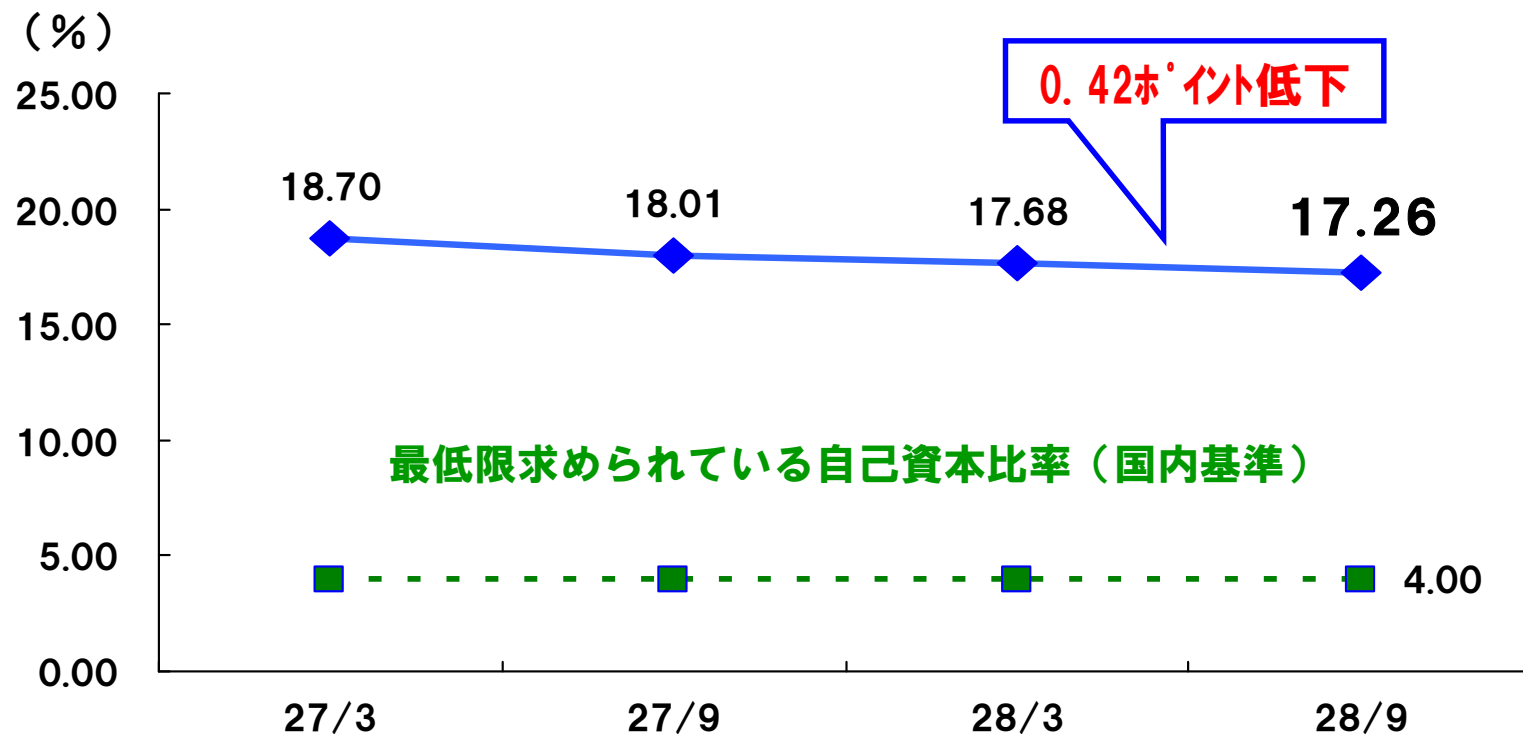
## 5-1 純資産の状況

- 純資産は1,800億円。平成28年3月末比4億94百万円増加。
- 創業以来の利益の積立金である利益剰余金は1,588億円。
- 純資産に占める利益剰余金の割合は88.2%と、純資産の質の高さが特徴。



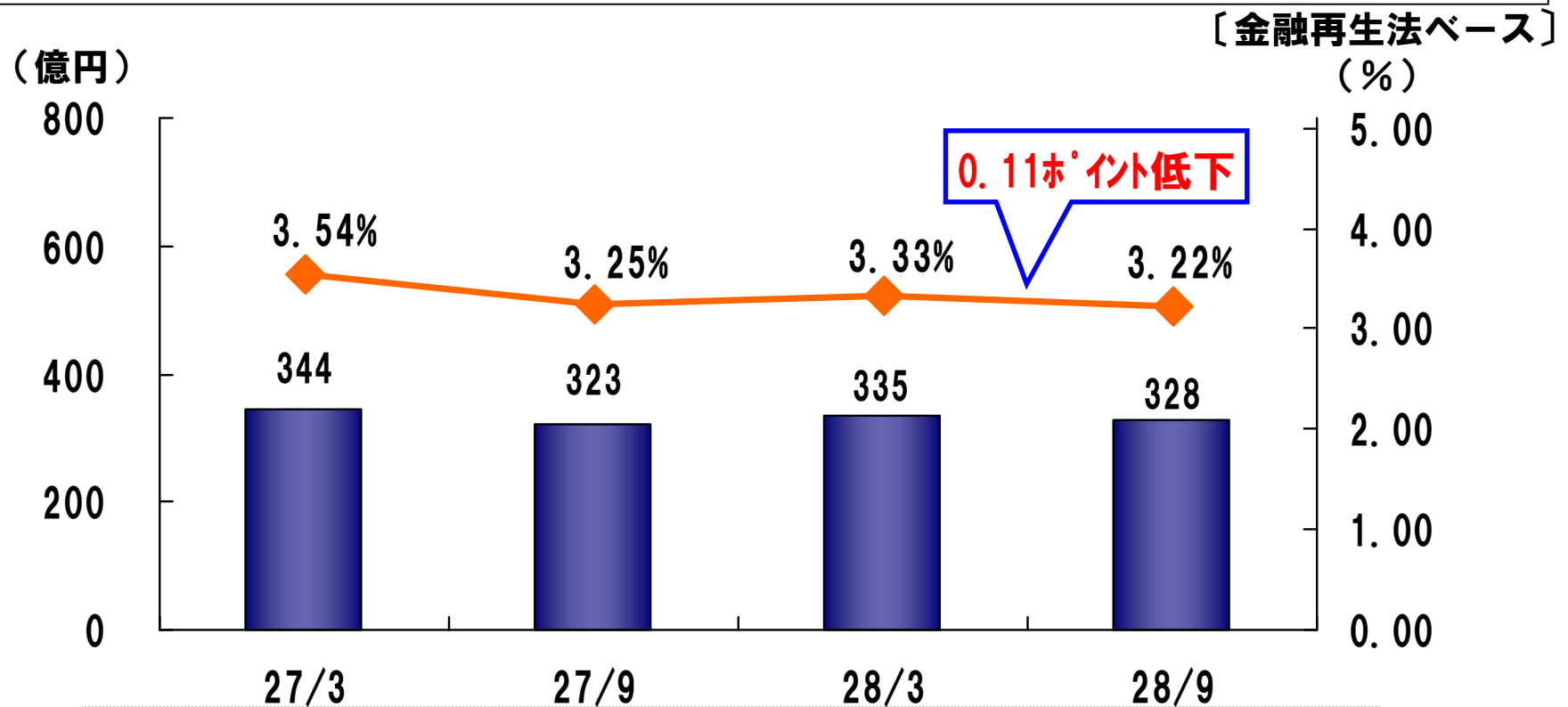
## 5-2 自己資本比率の状況

- 金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、利益計上による自己資本の増加はありましたが、順調な預金等の増加に伴う総資産の増加、特に貸出金の増加等の要因により平成28年3月末比0.42ポイント低下し17.26%。
- 信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っています。



## 5-3 不良債権の状況

- 不良債権比率は、平成28年3月末比0.11ポイント低下し3.22%。
- 地域経済への影響を十分考慮しつつ、引き続き「事業再生・経営支援活動」を主体に改善に努める方針。



※当金庫は債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する部分直接償却を実施しています。

## 6-1 貸借対照表 (平成28年9月末現在)

| 科 目         |  | 金 額       | 科 目                     |  | 金 額       |
|-------------|--|-----------|-------------------------|--|-----------|
| (資産の部)      |  | 百万円       | (負債の部)                  |  | 百万円       |
| 現 金         |  | 18,141    | 預 金 積 金                 |  | 1,936,260 |
| 預 け 金       |  | 479,912   | 借 用 金                   |  | 106,350   |
| 商 品 有 価 証 券 |  | 35        | 外 国 為 替                 |  | 53        |
| 有 価 証 券     |  | 686,592   | そ の 他 負 債               |  | 4,806     |
| 貸 出 金       |  | 1,017,631 | 賞 与 引 当 金               |  | 576       |
| 外 国 為 替     |  | 937       | 退 職 給 付 引 当 金           |  | 448       |
| そ の 他 資 産   |  | 11,580    | 役 員 退 職 慰 労 引 当 金       |  | 334       |
| 有 形 固 定 資 産 |  | 22,643    | 偶 発 損 失 引 当 金           |  | 271       |
| 無 形 固 定 資 産 |  | 421       | 睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金   |  | 118       |
| 債 務 保 証 見 返 |  | 2,193     | 繰 延 税 金 負 債             |  | 5,959     |
| 貸 倒 引 当 金   |  | △2,706    | 債 務 保 証                 |  | 2,193     |
| (うち個別貸倒引当金) |  | (△964)    | 負 債 の 部 合 計             |  | 2,057,374 |
|             |  |           | (純資産の部)                 |  |           |
|             |  |           | 出 資 金                   |  | 1,259     |
|             |  |           | 利 益 剰 余 金               |  | 158,890   |
|             |  |           | 会 員 勘 定 合 計             |  | 160,150   |
|             |  |           | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 |  | 19,858    |
|             |  |           | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計     |  | 19,858    |
|             |  |           | 純 資 産 の 部 合 計           |  | 180,009   |
| 資 産 の 部 合 計 |  | 2,237,383 | 負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計   |  | 2,237,383 |

## 6-2 損益計算書 (平成28年4月1日~9月30日)



| 科 目               | 金 額    | 経 常 利 益               | 2,267 |
|-------------------|--------|-----------------------|-------|
|                   | 百万円    | 特 別 利 益               | 0     |
| 経 常 収 益           | 12,667 | 特 別 損 失               | 2     |
| 資 金 運 用 収 益       | 10,202 | 税 引 前 当 期 純 利 益       | 2,265 |
| 貸 出 金 利 息         | 6,102  | 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 604   |
| 有 価 証 券 利 息 配 当 金 | 3,378  | 法 人 税 等 調 整 額         | 43    |
| 役 務 取 引 等 収 益     | 1,448  | 法 人 税 等 合 計           | 648   |
| そ の 他 業 務 収 益     | 640    | 当 期 純 利 益             | 1,616 |
| 国 債 等 債 券 売 却 益   | 599    | 繰 越 金 ( 当 期 首 残 高 )   | 462   |
| そ の 他 経 常 収 益     | 375    | 当 期 未 処 分 剰 余 金       | 2,079 |
| 経 常 費 用           | 10,400 |                       |       |
| 資 金 調 達 費 用       | 1,062  |                       |       |
| 預 金 利 息           | 1,001  |                       |       |
| 役 務 取 引 等 費 用     | 840    |                       |       |
| そ の 他 業 務 費 用     | 127    |                       |       |
| 経 費               | 8,153  |                       |       |
| 人 件 費             | 5,256  |                       |       |
| 物 件 費             | 2,618  |                       |       |
| そ の 他 経 常 費 用     | 215    |                       |       |
| 貸 出 金 償 却         | 50     |                       |       |

## 7 平成28年度計画の進捗状況

|     | 項目                   | 28年9月期<br>(半期)実績 | 28年9月期<br>(半期)計画 | 計画対比   | 29年3月期<br>年度計画 |
|-----|----------------------|------------------|------------------|--------|----------------|
| 規模  | 預金平均残高               | 1兆9,305億円        | 1兆9,200億円        | +105億円 | 1兆9,250億円      |
|     | 貸出金平均残高              | 1兆 38億円          | 1兆 45億円          | △6億円   | 1兆 160億円       |
| 収益性 | 経常利益                 | 22億円             | 21億円             | +74百万円 | 40億円以上         |
| 健全性 | 自己資本比率               | 17.26%           | —                | —      | 17.50%以上       |
|     | 不良債権比率<br>(金融再生法ベース) | 3.22%            | —                | —      | 3.30%以下        |

※健全性を表す自己資本比率、不良債権比率は年度計画を設定していますが、半期計画は設定していません。



# 対応すべき課題

## (対処すべき課題)

- ① 支援力、営業力の強化
- ② 金融サービスの機能強化
- ③ 働き方の改革を通じた生産性の向上
- ④ 人材育成・能力開発・人材活用の強化

## **(対処すべき課題①)**

### **支援力、営業力の強化**

- お客さまの課題解決を支援する『ソリューション営業』の展開**
- 名古屋エリアにおける営業基盤の強化**
- 全員営業体制の実現**

## **(対処すべき課題②)**

### **金融サービスの機能強化**

- IT化・機械化を通じた多様な金融サービスの提供**
- インターネットサービスの拡充**

## **(対処すべき課題③)**

# **働き方の改革を通じた生産性の向上**

- 職員の仕事方・意識の見直し**
- 業務効率化につながる事務ルール、プロセスの見直し**

## **（対処すべき課題④）**

# **人材育成・能力開発・人材活用の強化**

**○課題解決能力のある人材の育成**

**○ダイバーシティ（多様性）の推進**

**本日は、経営報告会にご参加いただき、誠にありがとうございました。  
本日の説明内容に関するご照会等がございましたら、下記までお願いいたします。**

**【お問い合わせ先】  
碧海信用金庫  
総合企画部 企画グループ  
TEL : 0566-77-8102**

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化などにより、変動する可能性があることにご留意ください。  
また、本資料に掲載されております計数につきましては、会計監査人の監査を受けておりません。